

令和7年度（第27回）「瀬戸山賞」受賞者

- 1 更生保護に関する学術的研究、広報宣伝又は先駆的・開拓的な活動において特に優れた功績のあった個人または団体

受賞者(敬称略)	功績の概要
該当なし	

- 2 他の範とすべき顕著な功績のあった保護司組織・保護司・更生保護法人・同法人役職員・更生保護女性会・同会員・BBS会・同会員・協力雇用主会・同会員

受賞者（敬称略）	功績の概要
片岡 美代子 （岐阜県）	長きにわたり更生保護法人岐阜県共助会の役員として、補導現場での経験を活かし適正な宿泊保護の実施に努めるとともに、保護観察所を始めとする関係機関・団体との連携強化に尽力し、同会の事業の充実発展と安定的な運営に多大な貢献をした。
更生保護法人 立川更生保護財団 理事長 池崎 久也 （東京都）	長きにわたり更生保護施設の整備や処遇環境の改善を始め、保護司やBBS等の更生保護ボランティアと連携協働し、広報啓発や安全・安心なまちづくりのために尽力され、更生保護事業の充実と発展に寄与した。
天童地区保護司会 （山形県）	長きにわたり地域活動において、地元マラソン大会に保護司、社会復帰を目指す人たち、保護観察所職員等と一丸となって参画し“社会を明るくする運動”の広報・立ち直り支援活動に継続して取り組み、地域社会の更生保護に対する理解の促進や社会復帰を目指す人たちの立ち直りに寄与した。